

神戸空港 インバウンド出国者動向調査 結果概要

実施概要

- ・ 回答収集期間 2025.5.1～2025.7.25（アンケート配布 2025.5.1～2025.7.20）
- ・ web回答法により調査
- ・ 神戸空港第2ターミナル内（※）において、アンケートカードを配布。更に搭乗待合室内にポスターを掲出。二次元コードからweb上の回答画面に遷移する形式で調査
- ※第2ターミナル 免税店、手荷物預かりコーナー、ロビー・総合案内カウンター
- ・ 言語：英語・繁体字・簡体字・韓国語
- ・ 有効回答サンプル数：499s



- ・ 神戸空港にて二次元バーコード付きのアンケートカードを配布／ポスターを掲出



- ・ インバウンド旅行者（出国者）がスマホから回答

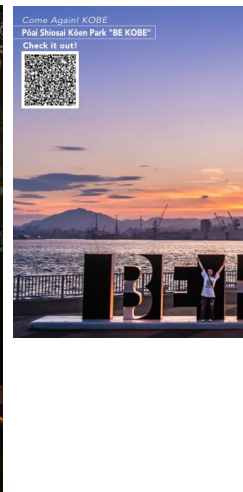


- ・ 回答後、抽選でデジタルノベルティをプレゼント



- ・ 神戸観光局で結果の集計・分析

（カード表面・4種）



（カード裏面）



全体

回答者属性

- ・回答者のうち、9割が観光・レジャー客
- ・個人旅行者：8割、団体ツアー客：2割

周遊傾向 ・旅行動線

- ・神戸空港からの出国者のうち、神戸空港から入国している方が全体の76%
- ・**神戸への立ち寄り率 82%**
神戸を含む2～3都市の周遊が基本（平均訪問エリア数：2.4個）
- ・**神戸への宿泊率 73%**
神戸にのみ宿泊、または神戸+1都市（大阪等）へ宿泊するケースが多い。（平均宿泊エリア数：1.6個）
神戸宿泊者の場合、全日程4～5日間の中で、神戸へ平均2～3泊している。

神戸の評価

- ・神戸の魅力 1位：神戸ビーフ（44%）、2位：海や港町の風景（34%）、
3位：ショッピング（29%）
- ・神戸の改善点 1位：夜の閉店時間延長（39%）、2位：無料Wi-fiの接続環境（22%）、
3位：飲食店の多言語対応（22%）
- ・神戸市内の立ち寄り 1位：三宮・元町（72%）、2位：メリケンパーク等（54%）、
3位：北野異人館街（36%）
神戸訪問者は市内の3～4スポットに立ち寄っており、一定市内を周遊している実態が確認できた。
（平均市内立ち寄りスポット数 3.5箇所）
- ・**神戸旅行の満足度 98%（非常に満足 46%）**

神戸空港の 評価

- ・**神戸空港の再利用意向度 95%（非常にそう思う 59%）**
- ・**神戸空港や神戸の街に対し、好評な声が多く聞かれた一方、改善を求む声もあった。**
 - ・施設が綺麗で清潔・快適で、案内も親切。出入国審査はスムーズで、効率的で快適な空港だった。
 - ・三宮など市内へのアクセスがとても良い。
 - ・空港の店舗の充実を求める声も多く、搭乗までの待ち時間の充実が求められる。
 - ・直行便ができ、**神戸はとても魅力的な都市**だった。清潔で親切な神戸。何度でも訪れたい。

全体 ～団体客と個人旅行者の違い～

団体ツアー

- ・グループサイズ：大きい（子連れ家族およびその他家族・親族が半数以上）
 - ・神戸への立ち寄り率 72%
神戸を含めた2～3都市を周遊する旅程が多い（平均訪問エリア数：2.7個）
 - ・神戸への宿泊率 64%
平均2都市へ宿泊。主に神戸+大阪への宿泊がメインとなっている。（平均宿泊エリア数：2.1個）
神戸への宿泊率（64%）より大阪への宿泊率（78%）の方が高い
 - ・神戸への立ち寄り率・宿泊率ともに個人旅行者より10pt程度低く、関西を中心に2～3都市を広く周遊。
全体的に神戸の滞在時間が短い実態が見えた。
 - ・市内立ち寄りスポット数が平均2箇所にとまり、市内周遊も個人旅行者に比べて少なくなった。
- ⇒全体的に、神戸への滞在時間が短いと想定される。
- 一方で団体旅行は、神戸に関心がない層に神戸を体験いただくきっかけになることは大きなメリット。

個人旅行者

- ・グループサイズ：小さい（1人もしくは夫婦・パートナーでの旅行がメイン）
 - ・神戸への立ち寄り率 85%
神戸+1都市（大阪・京都等）を周遊する旅程が多い（平均訪問エリア数：2.3個）
 - ・神戸への宿泊率 75%
平均1都市へ宿泊。神戸宿泊が多く、旅行者によっては+大阪・京都（平均宿泊エリア数：1.4個）
1エリアへの宿泊日数が2～3泊となっており、さらに、団体客に比べて宿泊エリア数も少ない。
よって、1エリアへの滞在が長期化する傾向がある。
 - ・神戸への立ち寄り・宿泊率が高く、団体ツアー客に比べると大阪や京都へ流れにくい。
 - ・市内立ち寄りスポット数は、平均3.8箇所となり、団体客の約2倍近くなった。
- ⇒個人旅行者に神戸空港を起点とした神戸旅を提案することで、神戸への長期滞在を促進できる可能性有。
- 「大阪・京都」以外の選択肢として、国籍別の特徴を意識しながら訪日リピーターへ訴求することが重要。

韓国

回答者属性

- ・個人旅行者は全体の9割を超え、うち個別手配者は3か国で最も高い89%
- ・グループサイズ：小さめ。配偶者・パートナー（31%）、1人（21%）が全体の半数を占める。
- ・年齢は、30・40代がメイン層となった。

周遊傾向 ・旅行動線

- ・神戸空港からの出国者のうち、神戸空港から入国している方が全体の85%
- ・**神戸への立ち寄り率は、3か国トップの90%**。三宮・元町への立ち寄り率は全体傾向より+9pt。
- ・神戸への宿泊率も全体より高く77%となった。
- ・また、**大阪・京都への立ち寄り率・宿泊率は3か国の中で最も低く、訪日中の訪問エリア数、宿泊エリア数は3か国で最も少ない**。（平均訪問エリア数：2.1個、平均宿泊エリア数：1.2個）
- ・よって、**他の2か国より周遊エリアが狭く、神戸を拠点とした旅行形態（神戸拠点型）**であり、神戸に宿泊しながら神戸+大阪などに周遊する旅行者が多いと推察。
理由として、旅程全体での宿泊日数が他国と比べて短いためと考えられる。
- ・一方、3人に1人が神戸に宿泊しない理由として「神戸にどんな観光地があるのか知らないから」と回答している。

神戸の評価 空港の評価

- ・神戸の魅力 1位：神戸ビーフ（37%）、2位：海や港町の風景（34%）、3位：神戸の夜景（29%）
- ・神戸ビーフは全体傾向より▲6pt。他国より神戸ビーフへの関心がやや低い。
- ・海や港町の風景、夜景といった**神戸の景色＝写真映えが期待できるコンテンツが上位に**。
5位に神戸のスイーツ・カフェ・パンがランクインし、全体傾向より少し選択率は高かった。
- ・市内立ち寄りスポット数は平均3.2箇所と全体より少なくなった。
- ・神戸空港の再利用意向度は、最も高い97%。
- ・**神戸空港の出入国手続きのスムーズさや、神戸空港と市街地の距離が近いことなど、神戸空港の利便性を評価する声が多いことが特徴**。

台湾

回答者属性

- ・回答者の団体比率は3か国で最も高くなり35%。**3人に1人が団体客となった。**
- ・グループサイズ：他の2か国と比較すると大きめ。ファミリー層が半数。
- ・年齢は、40代、30代の順が多かった。

周遊傾向 ・旅行動線

- ・団体客が多いため、旅行会社があらかじめ設定した旅程の影響が見られ、神戸空港からの入国率が85%と非常に高いにもかかわらず、**大阪や大阪・関西万博への立ち寄り率が、3か国中最も高く、神戸への立ち寄り率は最も低い水準（77%）となった。**
- ・宿泊率も同様に、**大阪への宿泊率は3か国中トップ（58%）**。一方、**神戸への宿泊率は、3か国中最も低く（69%）、大阪への関心の高さが顕著。（大阪－神戸旅行型）**
（平均訪問エリア数：2.6個、平均宿泊エリア数：1.6個）
- ・神戸に宿泊しない理由として、「大阪・京都から日帰りで行けるから」が4割を占めた。一方で、その他の回答として、「旅行会社の手配により、神戸での宿泊が含まれていなかった」との声も見られ、非宿泊者のうち4人に1人がこの理由を挙げていた。

神戸の評価 空港の評価

- ・神戸の魅力 1位：神戸ビーフ（46%）、2位：ショッピング（37%）、3位：海や港町の風景（30%）
- ・約半数が神戸ビーフを魅力と回答。「**ショッピング**」は全体傾向より**8pt高い**。また他の2か国と異なり、5位に「商店街の散策」がランクイン。「海や港町の風景」は全体より4pt低く、相対的に関心はやや低め。
- ・「**北野異人館**」への立ち寄り率が全体傾向より**10pt高かった**のに対し、「三宮・元町」や「メリケンパーク」は全体より5～12pt低い。（平均市内立ち寄りスポット数3.5箇所）
- ・神戸空港に関しては、**好評な声他国より多い。**
空港等のスタッフの対応を評価する声や、神戸の街や自然、関西を周遊しやすいアクセス面（大阪や姫路や四国にもアクセスできる）等を評価する声が目立った。

中国

回答者属性

- ・ 個人旅行者は全体の 9 割近く（85%）を占める
- ・ グループサイズ：小さめ。配偶者・パートナー、一人、友人・知人で全体の 7 割を占めた。
- ・ 30代が最も多く、2位は20代。他国に比べて若年層が多いことが特徴であった。

周遊傾向 ・ 旅行動線

- ・ 出国者のうち神戸空港からの入国が50%と他国に比べて低く、37%は関空IN－神戸空港OUT。
- ・ 神戸、大阪への立ち寄り率は全体傾向とほぼ同水準となる一方、京都への立ち寄り率は、他の2か国より高い（52%）。
- ・ 神戸への宿泊率は77%となり、神戸だけでなく、大阪・京都をめぐる関西周遊型と推定される。
- ・ 旅程全体の宿泊日数が他国と比べて長いため、神戸、大阪、京都にバランスよく宿泊・訪問していると思われる。（平均訪問エリア数2.6個、平均宿泊エリア数2.0個）

神戸の評価 空港の評価

- ・ 神戸の魅力 1位：神戸ビーフ（50%）、2位：海や港町の風景（41%）、3位：山の自然（六甲山、布引の滝など）（23%）
- ・ 1位に神戸ビーフ、4位にスイーツがランクインし、食への関心が高い。
- ・ また、海や港町の風景および山の自然は全体傾向よりそれぞれ7pt高くなった。これらのことから、食と自然への関心が他国より目立つ結果となった。
- ・ 神戸市内における営業時間の延長を求める声や、キャッシュレス決済対応の普及を求める声が聞かれた。
- ・ メリケンパーク等、南京町、明石海峡大橋への立ち寄りが全体傾向より4～11pt高く、少なくとも3人に1人がこれらのスポットに立ち寄っており、3か国中最も広く神戸を周遊している。（平均市内立ち寄りスポット数：3.9箇所。全体傾向より多い）
- ・ 神戸空港に関しては、空港等のスタッフの対応や出入国手続きのスムーズさに対して評価する声が一定見受けられた。

神戸空港 インバウンド出国者動向調査 結果概要



■ 国別傾向一覧

国別傾向一覧			韓国	台湾	中国
属性	年代		30-40代	40代	30代
	同行者		配偶者・パートナー	その他家族・親族	配偶者・パートナー
	旅行申込タイプ		個別手配	個別手配 団体旅行ツアー利用者も多め	個別手配
旅行実態	全体の旅行動向	旅行形態	神戸拠点型	大阪－神戸旅行型（団体ツアー）	関西周遊型
		入国時の空港	神戸空港	神戸空港	神戸空港 関空利用者も多め
		神戸空港利用理由	来訪場所に近いから	あらかじめ手配されていたから	スケジュールにあったから
		立ち寄りエリア数（平均）	2.1（やや少なめ）	2.6（やや多め）	2.6（やや多め）
		立ち寄りエリア	神戸・大阪	神戸・大阪	神戸・大阪・京都
		宿泊エリア	神戸	神戸・大阪	神戸・大阪
		各エリアへの宿泊日数 合計	3.08泊	4.53泊	4.99泊
	神戸での旅行動向	神戸来訪目的	観光・レジャー	観光・レジャー	観光・レジャー
		神戸宿泊目的	神戸をゆっくり観光したかった	神戸を拠点にして、 他エリアの周遊がしやすかった	神戸をゆっくり観光したかった
		市内の立ち寄りスポット数	3.2	3.5	3.9
		主な立ち寄りスポット	三宮、元町・南京町 神戸ベイエリア 北野異人館街 有馬温泉	三宮、元町 神戸ベイエリア 北野異人館街 有馬温泉	三宮、元町・南京町 神戸ベイエリア 北野異人館街 明石海峡大橋
	評価	満足度（非常に満足）		98%（45%）	99%（45%）
空港再利用意向（非常にそう思う）		97%（62%）	94%（58%）	94%（58%）	
魅力TOP3		神戸ビーフ 海や港町の風景 神戸の夜景 ⇒景色重視	神戸ビーフ ショッピング 海や港町の風景 ⇒買い物重視	神戸ビーフ 海や港町の風景 山の自然 スイーツ、カフェ、パン ⇒食・自然 重視	